

Q & A

よくあるご質問



TB-50

真空管フォノイコライザー

INTRODUCTION

はじめに

DS Audio TB-50は、光カートリッジ専用に開発したハイブリッド・フォノイコライザーです。ソリッドステートによる精緻な信号増幅と、真空管による豊かな倍音表現を、一台で両立させました。本資料では、TB-50についてお客様、販売店、レビュアーの皆様から最もよくいただくご質問に、Q&A形式でお答えします。

ふたつの魂、ひとつの音楽。

CONTENTS

目次

Q 01	TB-50とはどのような製品ですか？
Q 02	「Two Souls. One Music.」の意味は？
Q 03	TB-100とは何が違いますか？下位モデルなのですか？
Q 04	どんな方に向いていますか？
Q 05	ハイブリッド構成とは？なぜソリッドステートと真空管を組み合わせたのですか？
Q 06	使用している真空管は？ 交換可能ですか？
Q 07	入力段のトランジスタは何ですか？
Q 08	電流駆動・電流伝送とは何ですか？
Q 09	光カートリッジ専用ですか？ 他のカートリッジで使えますか？
Q 10	XLR(バランス)出力はありますか？
Q 11	出力インピーダンス・入力感度・接続方法は？
Q 12	真空管イルミネーションの調整方法は？
Q 13	真空管の寿命と交換時期は？
Q 14	価格・発売時期・購入方法は？

質問と回答

Q01

TB-50とはどのような製品ですか？

TB-50は、DS Audio光カートリッジ専用開発したハイブリッド・フォノイコライザーです。RIAA偏差補正を含む増幅は半導体回路で行い、最終出力段に真空管バッファを配置することで、ソリッドステートの精緻な信号増幅と、真空管による豊かな倍音表現を、一台で両立させました。

Q02

「Two Souls. One Music.」の意味は？

TB-50のタグライン「Two Souls. One Music.(ふたつの魂、ひとつの音楽)」は、本機のハイブリッド設計思想を端的に表現しています。ソリッドステートの精緻さと真空管の情感、二つの異なる技術を敵対させることなく融合させ、単一のフォノイコライザーとして完成させました。それぞれの技術は独立したキャラクターを持ちながら、最終的に一つの音楽として聴き手に届く——その思想を象徴する言葉です。

Q03

TB-100とは何が違いますか？下位モデルなのですか？

TB-100は純真空管式で、情感豊かでクラシカルな真空管らしい音を身上としています。一方TB-50はハイブリッド方式で、増幅段はソリッドステート、最終段のみ真空管バッファを配置します。結果として、TB-100よりもスピード感と解像感に勝りながら、真空管ならではの音色も残した、両者の長所を活かした音になります。両機は上位/下位の関係ではなく、異なる音の方向性として位置づけています。

Q04

どんな方に向いていますか？

TB-50は、以下のような方々に特にお勧めいたします。

- DS Audio光カートリッジを既にお持ちで、真空管の情感を取り入れたい方
- 純真空管機よりもレスポンスとスピード感を重視される方
- フラッグシップTB-100の音の方向性は魅力的ながら、より現実的な価格帯を検討されている方
- ハイブリッド設計による、両技術のバランスの取れた表現を好まれる方

初めてDS Audio光カートリッジシステムを構築される方にも、システム全体の完成度を高める選択肢としてお勧めできます。

Q 0 5

ハイブリッド構成とは?なぜソリッドステートと真空管を組み合わせたのですか?

TB-50は、RIAA偏差補正を含む信号増幅段はすべてソリッドステート(トランジスタ・オペアンプ)で行い、最終出力段のみに真空管バッファを配置する、ハイブリッド構成のフォノイコライザーです。これは、増幅と音色付けを別工程で扱うという明確な設計思想に基づきます。

ソリッドステートによる増幅は、周波数特性の精度・応答速度・S/N比において真空管を上回ります。RIAA偏差補正のような正確性が求められる工程では、この特性が音質に直接寄与します。一方、真空管は倍音構成の豊かさや音楽的な情感表現において他に代えがたい特性を持っています。

TB-50では、この二つを担当領域で使い分けることで、精緻さと情感の両立を実現しています。

Q 0 6

使用している真空管は? 交換可能ですか?

TB-50には、フラッグシップ機TB-100と同じECC82(12AU7)真空管を採用しています。ただしTB-100とは異なり、TB-50では選別ペア(マッチドペア)が不要で、ハウリングの懸念もないため、ユーザー自身による交換が可能です。市販のECC82(12AU7)であればお使いいただけます。

Q 0 7

入力段のトランジスタは何ですか?

電流伝送段には日本製の低ノイズ・トランジスタを採用しています。増幅段はオペアンプ構成です。

Q 0 8

電流駆動・電流伝送とは何ですか?

DS Audioの光カートリッジは、その出力特性上、電流伝送方式による接続が最適です。TB-50の入力段では、カートリッジからの信号を電圧としてではなく電流として受け取る設計を採用しています。

この方式には二つの利点があります。第一に、ケーブルの静電容量・接触抵抗の影響を最小化でき、カートリッジから届く音楽情報の劣化を防げます。第二に、光カートリッジ本来の広帯域特性を最大限に引き出すことができます。

「電流駆動・電流伝送」は、光カートリッジのポテンシャルをより引き出すための手法です。

Q 0 9

光カートリッジ専用ですか? 他のカートリッジで使えますか?

TB-50はDS Audio光カートリッジ専用設計されたフォノイコライザーです。MMカートリッジ、MCカートリッジではご使用いただけません。

これは、光カートリッジが振幅比例型出力であるのに対し、MM/MCカートリッジは速度比例型出力であり、必要なRIAA補正回路が根本的に異なるためです。また、光カートリッジのLEDへの電源供給もイコライザー側から行っており、その点でも一般的なフォノイコライザーとは動作が異なります。

DS Audio光カートリッジのポテンシャルを最大限に引き出すための一台としてご検討ください。

Q10

XLR(バランス)出力はありますか？

ございません。本機はRCA(アンバランス)出力のみです。

Q11

出力インピーダンス・入力感度・接続方法は？

主な仕様は以下のとおりです。

- 定格出力電圧: 500 mV(1 kHz)
- 出力インピーダンス: 約700 Ω
- 入力/出力端子: RCA
- 外形寸法: W420 × H120 × D320 mm(端子含む)
- 質量: 11.3 kg

接続は、DS Audio光カートリッジからのRCA出力を本機のRCA入力に、本機のRCA出力をプリアンプまたはインテグレートッドアンプの入力に接続してください。

Q12

真空管イルミネーションの調整方法は？

TB-50は、真空管の明るさ(イルミネーション)を無段階で調整できる機能を備えています。リアパネルの調整ノブにより、最低輝度から最大輝度まで連続的に変化させることができます。

これは装飾的な機能ではなく、真空管の視認性と設置環境の調和を可能にするための実用機能です。暗いリスニングルームでは輝度を落とし、明るい部屋や視覚的アクセントを求める場合には輝度を高くする——そうしたリスニングスタイルに応じた使い方をご提案いたします。

Q13

真空管の寿命と交換時期は？

ECC82(12AU7)真空管の一般的な寿命は、通常のご使用で約5,000～10,000時間とされています。1日3～4時間ご使用の場合、おおむね4～9年に相当します。

交換時期の目安としては、以下のような変化をご確認ください。

- 音の輪郭が甘くなり、鮮度感が低下したように感じられる
- 低域の量感や高域の伸びが以前より減衰したように感じられる
- 電源投入後のウォームアップに以前より時間がかかるようになった

TB-50はマッチドペア不要のため、ユーザー自身での交換が可能です。市販のECC82(12AU7)をお求めのうえ、電源を切り、本機が完全に冷えてから交換してください。

Q14

価格・発売時期・購入方法は？

TB-50は2026年7月、DS Audioの代理店ネットワークを通じて発売予定です。国内希望小売価格は660,000円(税込)です。

お問い合わせ

株式会社デジタルストリーム

〒252-0318 神奈川県相模原市南区上鶴間本町 4-50-40

Tel +81-42-747-0900 Fax +81-42-747-6011

Web <https://ds-audio.biz/> E-mail support@ds-audio.biz